

第5回長野県高体連テニス部顧問総会決定事項

- 1 来年度総体出場枠 男女ともS3D2へ！Dが昨年比男女とも+1。女子は学校数による付加、男子に至っては神奈川のはみだし数（上限3に対して4）が廻ってきている！<扱い注意！決定は3/21の全国委員会、変更の可能性もあり>
[重要！]4月の高体連登録、加盟校数が最も重要！この数字で、総体の個人戦出場枠が決まります。ダブルスが1か2か長野県はボーダーライン上にいます
- 2 平成18年度北信越体育大会は長野県で 松本市（やまびこドーム+スカイパーク）
- 3 来年度総体、選抜使用球(地区大会から)
男子はUSOPEN EXTRA DUTY、女子はUSOPEN REGULAR DUTY（本年のみ移行年という事でダブルコア可）。新人戦・1年生は、ダンロップ・フォート
- 4 大会費について 総体44万(10万円増)新人39万(10万円増)
(来年度の県総体と県新人戦は、選手からのボール代の徴収は行いません。セットボールの販売も行い、補助員費用など運営費に加える)。決定は4月。
- 5 外部コーチが高体連で監督になることが可能になります。決定は4月。
- 6 少子化対策（選抜5人、新人戦4人登録）の継続
- 7 テニス顧問会から県協会へ年6万円の協賛金出資(各地区1.5万円)実施の継続
- 8 高体連主催大会における選手の服装、頭髪等規制の実施の継続
- 9 長い試合が多くなり、運営が難しくなりつつある。加えて、運営側のタイムロスへの反省（H16、県総体・県選抜など）04新伝説！1セット5時間、1ポイントに1600球、1時間20分！（しかもこのポイント雨が激しくなって途中打ち切り）

提案 団体戦における選手のレストは原則最大15分とする（当該選手のみ、前の試合
<承認> 終了時から、次試合開始まで、その間挨拶などは行う。当該選手の15分を全員が待って挨拶を行うのではない。地区大会にも実施）

提案 県総体・県新人での、公式朝練週時間の廃止 団体戦初戦のみ5分の練習時間
<承認>（経費の節減 補助員手当へ、専門委員の負担軽減、本来朝練週は必要なら各校で行うべきもの、コートに慣れる意味で5分の練習を新設）

10 1年生大会の改革

提案 ドローサイズを現行のS32から、S48~S64へ（各地区男女各12名+地区
<承認> 予選100名を越えた地区はもう+4で16名）。それに伴ってコンソレは廃止。

提案 出場資格制限の新設（同年県総体・国体でベスト8以上、北信越選抜登録選手は
<承認> 参加出来ない=上記の趣旨は、なかなか県大会を経験出来ない選手に県大会の機会を与える、別のステージが与えられる選手はこちらは辞退すべき）

提案 管理職から大変不評な選手派遣依頼の廃止。要項をHPに載せませんので必要であ
<承認> るならば、それを学校に提出。（この大会は練習試合であって、公欠を依頼出来る大会ではない。派遣依頼をみた管理職が公欠を要求されていると勘違いして怒っているらしい。ジュニアの大会に出場するのと同じ扱いです。また公印を押したり配布したり、人数が多くなれば専門委員の手間も大変。）

11 県選抜の地区代表枠の変更問題 宮島委員長

H15年度長野県テニス部顧問総会にて、「他競技に比べて県大会出場枠が少ないこと。また、地区によって出場校数に2倍以上の格差があること」が指摘され、県大会出場枠を検討することにした。高体連主催の県総体・県新人での出場枠拡大は今のところ難しいため、選抜大会について検討し提案する。

地区枠(3)×4地区 + 前年度ベスト2(2) + 参加校数比例配分(6)で20校

上記案で大筋承認本年度より導入、詳細は引き続き県大会出場枠検討委員会で検討